

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあかしや

目標達成計画

作成日: 令和 2年 1月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	災害時マニュアルを作成し職員研修や年2回の避難訓練を行っているが、いざという時に的確な避難誘導ができるかが疑問である。	消防署にも意見を聞いたうえで協力を得て避難訓練を実施する。 また、運営推進会議の更なる活用により地域住民との協力体制を構築し一緒に訓練を行う。	避難方法に関し管理者と施設の防火管理者で消防署の意見や指導を仰ぎ避難訓練を実施する。また、運営推進会議にて地域住民の協力が得られるよう努め、避難訓練に参加していただくよう体制を確立していく。	6 月
2	14	今年度は圏域のグループホームが集い地域支援並びにサービス向上への話し合いがスタートした。 近年行われていない他ホームとの職員間、利用者間の交流の再開を目指し地域の一員として生活の充実を図って行きたい。	近年行われていない他ホームとの交流を再開、活発化し利用者の生きがい、職員の研鑽に資するよう努め、サービスの向上に繋げて行きたい。	今まで交流のあったホームはもとより、参加可能なホームに対し積極的に声掛けを行っていく。職員間の職場体験等へも繋げサービスの向上を図って行く。	6 月
3	11 (7)	現在、ホームの記録、情報ツールが手書きであるが、情報共有、スピートの観点から電子化を図って行きたい。	情報量、時短への対応のため、より確実にスピーティな情報の共有化を図るために、電子による情報記録を導入していきたい。	スタッフの年齢層が比較的高く、電子入力に対し抵抗のある職員が多い現状であるが、将来を見据えて左目標のとおり、電子化を進めて行きたい。	6 月
					月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。